

道前道後用水地区

～ 地を越え、^{とき}世紀を越え、未来に架ける ～
「虹の用水、感謝の用水」



面河ダム



農林水産省

中国四国農政局 道前道後用水農業水利事業所

1 道前道後用水の概要

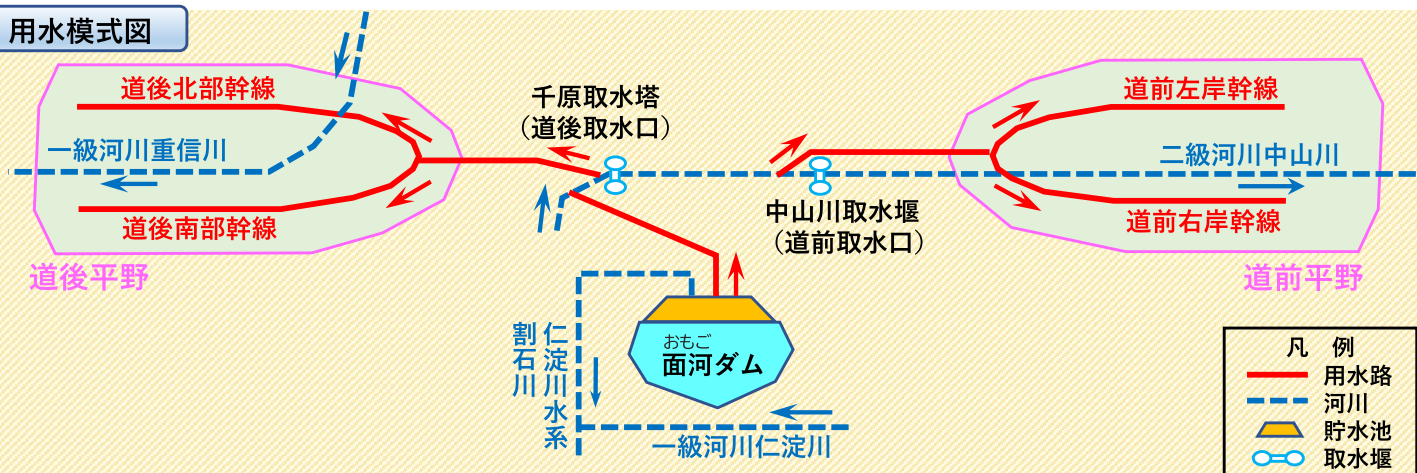
【事業の背景】

道前道後平野は、中山川流域等に形成された道前平野と、重信川流域に形成された道後平野からなり、瀬戸内海に面した気候特有の雨量の少ない地域にあるため、河川の流量が乏しく、昔から恒常的な農業用水の不足に悩まされてきました。

昭和の事業

昭和32年度～昭和42年度 国営道前道後平野土地改良事業

用水模式図



昭和32年度～42年度に実施した国営道前道後平野土地改良事業では、仁淀川の上流に面河ダムを築造して、農業用水、発電及び工業用水の水源を開発するとともに、四国山地を越えて道前平野・道後平野へ導水する水路や取水堰等を整備しました。

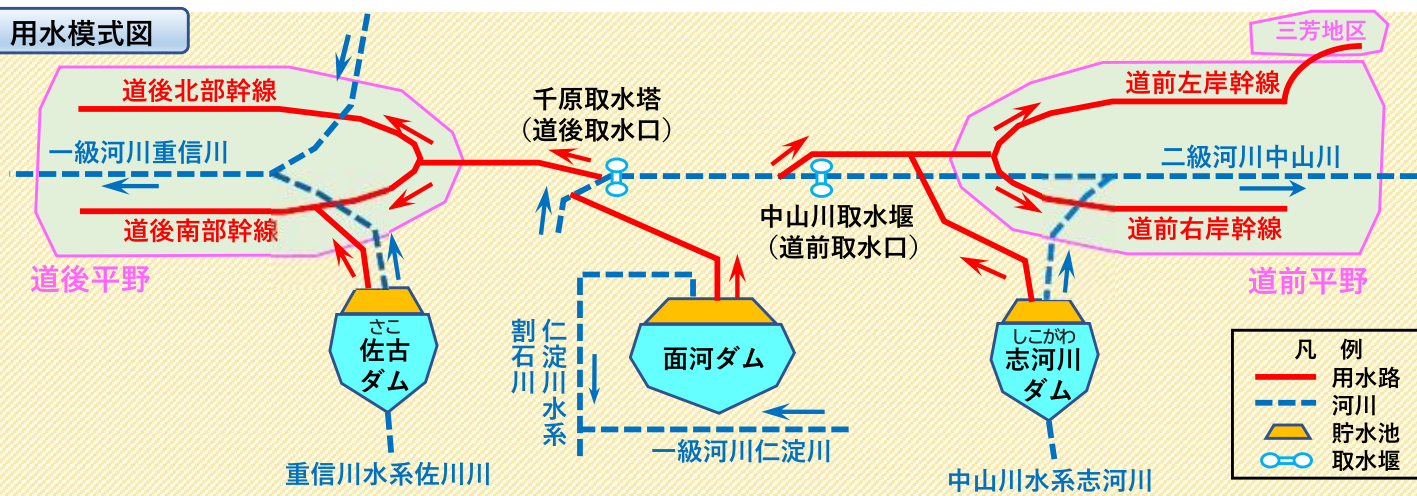
面河ダムからの水は、山並みを越えて架かる水の連なりであることから「虹の用水」と言われています。



平成の事業

平成元年度～平成25年度 国営道前道後平野土地改良事業

用水模式図



平成元年度～25年度に実施した国営道前道後平野土地改良事業では、受益地に三芳地区を追加し、新たに冬の野菜作に必要な水源として佐古ダム及び志河川ダムを築造するとともに、昭和の事業で造成した施設の改修を行いました。



これまでの経過

年 度	事 項
昭和27年度	道前道後平野農業水利事業 計画概要発表（愛媛県）
昭和32年度	事業の着工（昭和の事業）
昭和35年度	^{おもて} 面河ダム着手
昭和38年度	面河ダム完成
昭和39年度	工業用水通水開始
昭和42年度	事業の完了（昭和の事業）
平成元年度	事業の着工（平成の事業）
平成8年度	^{さこ} 佐古ダム着手
平成12年度	佐古ダム完成
平成16年度	^{しこがわ} 志河川ダム着手
平成22年度	志河川ダム完成
平成23 ～ 25年度	施設機能監視期間
平成25年度	事業の完了（平成の事業）

施設概要

区 分	施設内容
共同施設	承水施設 面河第一承水堰など 11か所
	承水路 開水路、隧道 L= 8.5km
	導水施設 放水導水路 L= 7.8km 道後導水路 L= 5.4km ^{ちはら} 千原取水塔 1か所 道後北部幹線用水路 L= 12.7km
	貯水池 面河ダム（総貯水量 28,300千m ³ ）
農業専用施設	幹線用水路ほか L= 26.6km
	^{なかやまがわ} 中山川取水堰 1か所
	道前平野 志河川幹線水路 L= 2.1km
	志河川ダム（総貯水量 1,300千m ³ ）
	幹線用水路ほか L= 26.7km
	^{よこたに} 横谷調整池、 ^{とおりたに} 通谷調整池 2か所
	道後平野 佐古ダム（総貯水量 1,110千m ³ ）

鳥 瞰 図



2 新たな事業の概要

昭和及び平成の事業で建設した農業水利施設は、老朽化が進み、サビ、ひび割れ、摩耗などの劣化により、補修費など施設の維持管理費が増加しています。また、一部の施設については、施設周辺の道路や学校などの公共施設及び住宅などの安全を確保するために、耐震性能の向上を図る必要があります。

このため、令和5年度から「国営道前道後用水土地改良事業」により、老朽化した農業水利施設の改修や耐震化のための整備を行っています。

【施設の劣化状況】

中山川取水堰



固定堰の摩耗

面河ダム水管理施設



水管理施設の劣化



ゲートの劣化



表示パネルの故障

施設の維持管理に必要な水管理施設に故障や不具合が発生

【施設の補修費の推移】



10年前に比べ、補修費用は約2.7倍に増加

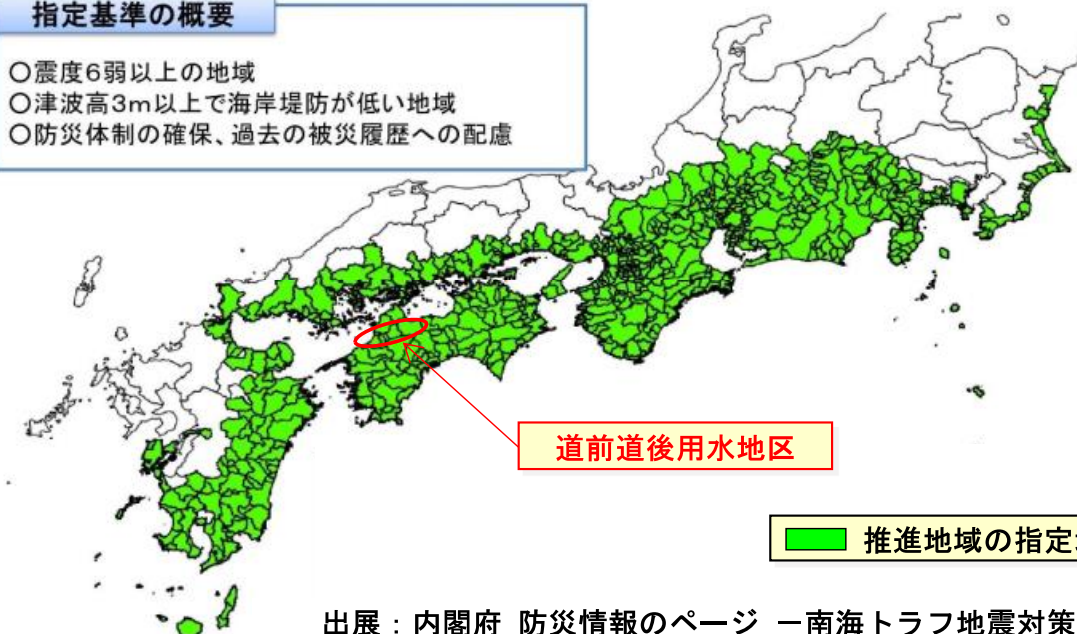
【事業の緊急性】

本地区は南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されており、施設の重要度に応じた必要な耐震性能を有していない中山川取水堰、横谷調整池、通谷調整池などの農業水利施設については、大規模地震対策が急務となっています。

南海トラフ地震防災対策推進地域の指定

指定基準の概要

- 震度6弱以上の地域
- 津波高3m以上で海岸堤防が低い地域
- 防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮



道前道後用水地区

推進地域の指定地域

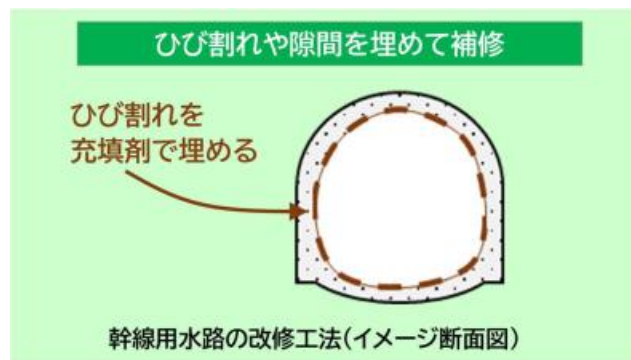
【事業概要】

関係市町	受益面積(ha)
松山市、西条市、伊予市、東温市、松前町、砥部町	9,178 (水田:7,318、樹園地:1,860)
事業費	事業工期
230億円（共同事業分込み260億円） 共同事業：愛媛県が行う発電・工業用水の事業 ※ 事業費は令和2年度単価	令和5年度～令和17年度（予定）

【主要な農業水利施設の老朽化に伴う改修及び耐震化対策】

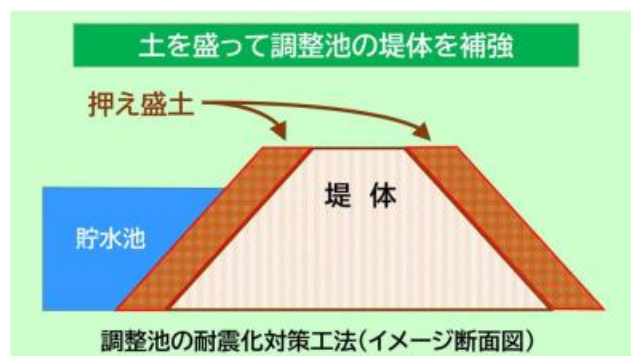
老朽化に伴う改修

ひび割れや
欠損部を補修
〔幹線用水路〕



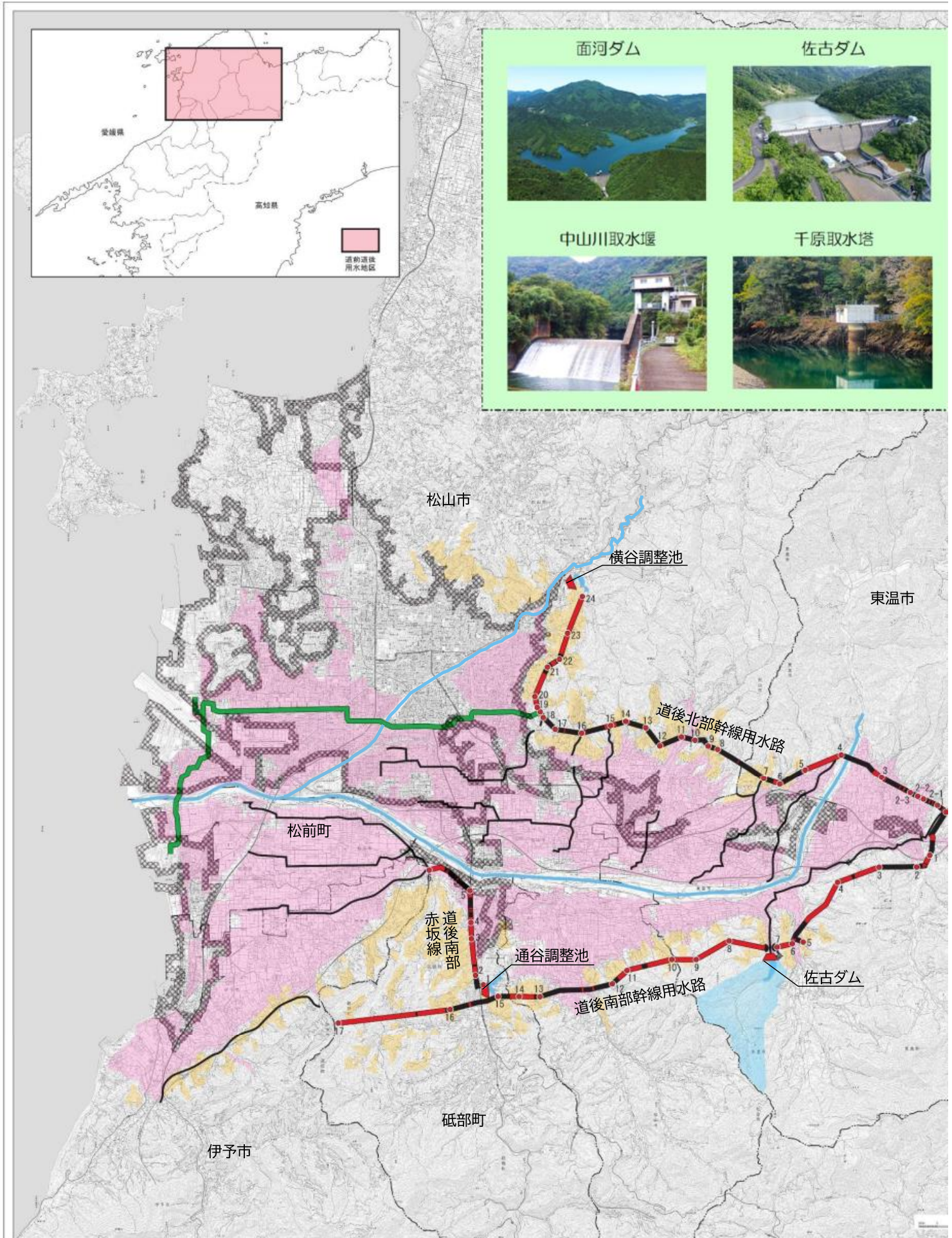
耐震化対策

大規模地震に
備えて施設を
補強
〔横谷調整池
通谷調整池〕



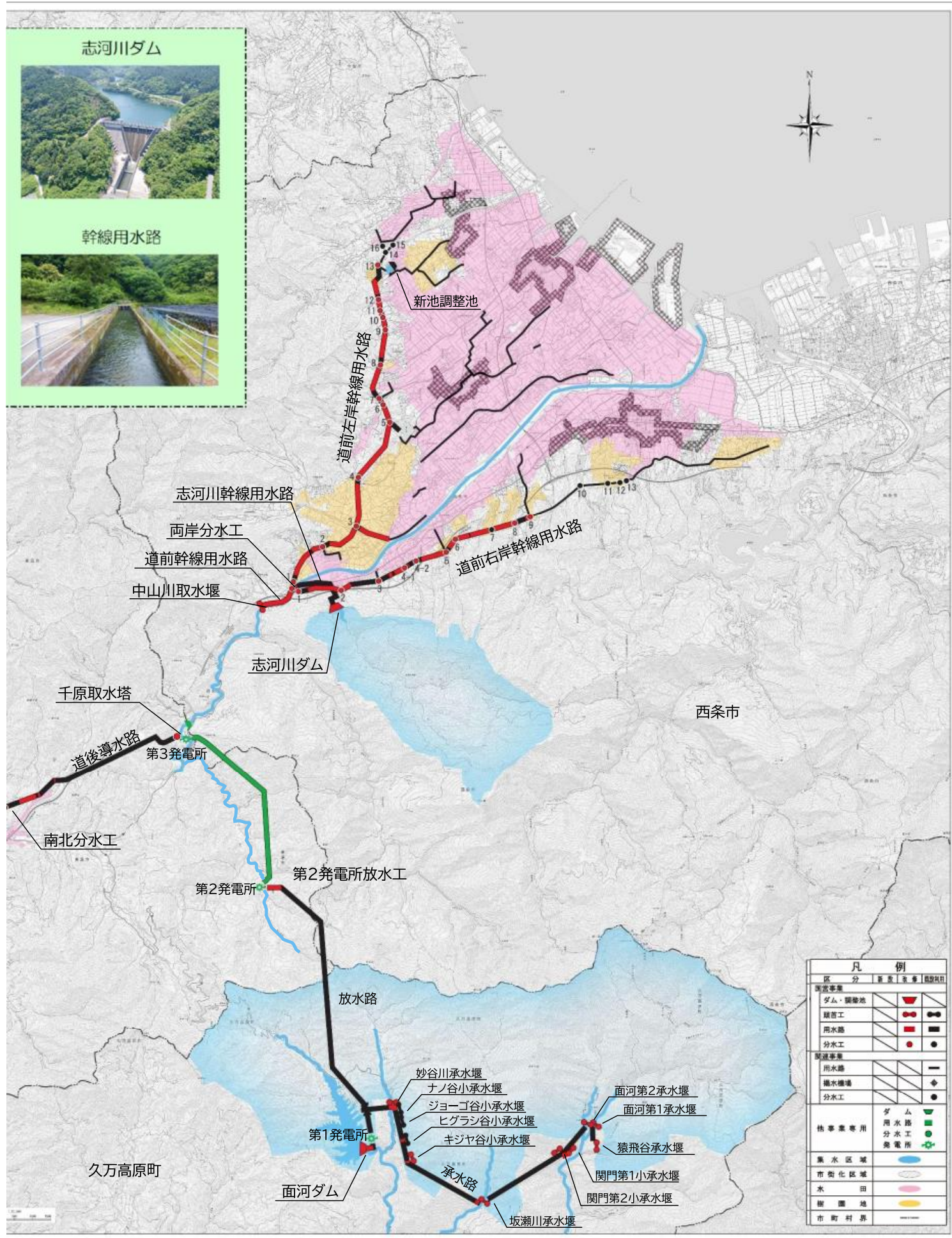
【主要な対象施設と主な工事内容】

工 種	対象施設	主な工事内容
ダ ム	面河ダム、佐古ダム、志河川ダム	老朽化に伴う改修
頭首工	中山川取水堰	老朽化に伴う改修、耐震化対策
幹線水路工等 (調整池含む)	放水路、道前及び道後幹線用水路 (横谷調整池、通谷調整池含む) など L=28.2km	老朽化に伴う改修、耐震化対策
水管理施設	面河ダム、佐古ダム、志河川ダム、 道前管理所、道後管理所の水管理施設	老朽化に伴う改修



「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 3JHf 299」
 「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

計画一般平面図



3 事業の効果

効果

1

農業用水の安定的な供給

雨乞いの状況



干ばつ等による水不足によって、貴重な水を求めて雨乞い等が行われていました。

事業実施
(水不足対策)



水源：面河ダム

地区を支える水源

農業用水の
安定的な供給

通谷調整池



中山川取水堰



幹線用水路

水は取水施設、幹線用水路を通じて地区内に流れていきます。



地区の隅々まで、水が安定して供給され、安心して営農を行うことができます。

効果

2

豊かで多様な農業生産

本地区では、昭和や平成の事業により農業用水が安定的に周年供給されることで、野菜や果樹の栽培が行いやすくなり、水稻中心の農業から多様な農作物が栽培される農業へと発展してきました。また、近年では、地域の特色ある農産物のブランド化を図るなど、地域農業の活性化に取り組んでいます。

いちご



キャベツ



温暖な気候と、安定供給される農業用水を活用して、水田の畑利用による野菜栽培等を組み合わせた複合経営のほか、中晩柑等の果樹栽培が盛んで、県内屈指の産地が形成されています。

はだか麦とキウイフルーツは、収穫量が全国1位です。



アスパラガス
(緑のささやき)



水稻



かんきつ



はだか麦



キウイフルーツ

都道府県別全国ベスト5（令和5年度産）

はだか麦収穫量



1位 愛媛県 4,590t

2位 大分県 2,670t

3位 香川県 2,300t

4位 福岡県 1,660t

5位 北海道 1,000t

キウイフルーツ収穫量



1位 愛媛県 4,660t

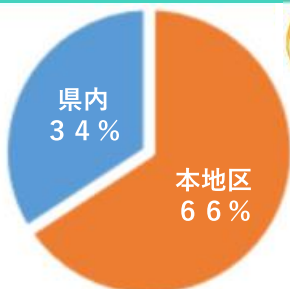
2位 福岡県 3,850t

3位 和歌山県 3,290t

4位 神奈川県 1,190t

5位 群馬県 893t

愛媛県産第28号（紅まどな）出荷量



令和4年産 愛媛県産第28号（紅まどな） 愛媛県調べ
※「紅まどな」は全国農業協同組合連合会の登録商標

農林水産省HPより（統計情報）

効果

3

環境との調和

農作物の生産だけではなく、道前道後平野を形成している環境（水生動植物の安定した生息・生育場、潤いのある水辺景観の形成など）に寄与しています。

環境配慮のテーマ

「虹の用水に育まれた豊かで美しい農村環境の保全と継承」
～みんなで守り育てる水と食の郷 道前道後用水～



生物保護の取組例（横谷調整池）

地産地消の推進

道前道後用水地区では、魅力的な農作物が育てられており、それらの魅力が地元根に根差すことを目指し、地産地消が推進されています。

地元の魅力的な農作物



紅まどな



キウイフルーツ



はだか麦

紅まどな、キウイフルーツをはじめとした、地域の特色ある農作物や、それらの加工品がたくさんあります。

地元農産物の取り扱い施設

「周ちゃん広場」 (西条市)



全国有数の直売所として、地元の旬で新鮮な野菜や果物、周ちゃん広場のオリジナル商品を中心に販売を行い、地産地消を進めています。

収穫祭や柑橘フェアなど、多くの人に農業に興味を持ってもらえるようなイベントを定期的に行い、いつも活気であふれています。



「太陽市 (おひさまいち)」 (松山市)



地元で採れた新鮮野菜や果物がぎっしり並んでいます。地元の生産者が丹精込めて栽培した農産物は安心・安全です。隣接するJAえひめ中央直営の複合施設「みなとまち まつてる」では季節の野菜や果物を使った食事が楽しめます。

松山市の中心部にあり、いつも大勢の利用者で賑わっています。



上記施設では、地域の特産品を使用した商品が多数販売されています。



はだか麦を原料にしたみそと焼酎



かんきつ（紅まどな、せとか）
やキウイフルーツを使ったゼリー



さといも（伊予美人）を使った
サトイモあんのどら焼き

【SDGs（持続可能な開発目標）への取組】

目 標（ターゲット）		道前道後用水地区
	干ばつ、洪水等に対する適応能力を向上させ、持続可能な食糧生産システムを確保	農業用水が安定供給されることで、持続的な農業が可能となります。
	水の利用効率を大幅に改善し、水不足に対処するとともに、水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる	老朽化によって機能が低下した施設を改修することによって、水利用効率が改善されます。
	強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。	施設の改修・耐震化を実施することで、従来より強靱なインフラを構築します。
	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、ならびに生物多様性の損失を防止	環境との調和に配慮し、生態系調査を行い、環境配慮計画を作成した上で工事を実施します。
	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。	事業の実施に当たっては、様々な地域の関係機関や多様な主体が参加し、それらが連携して実施します。

MEMO



『道前道後用水地区の田園風景』



横谷調整池



通谷調整池

【問合せ先】

農林水産省 中国四国農政局 道前道後用水農業水利事業所

〒791-0213

愛媛県東温市牛湫829-1

TEL 089-993-6454 FAX 089-993-6455

